

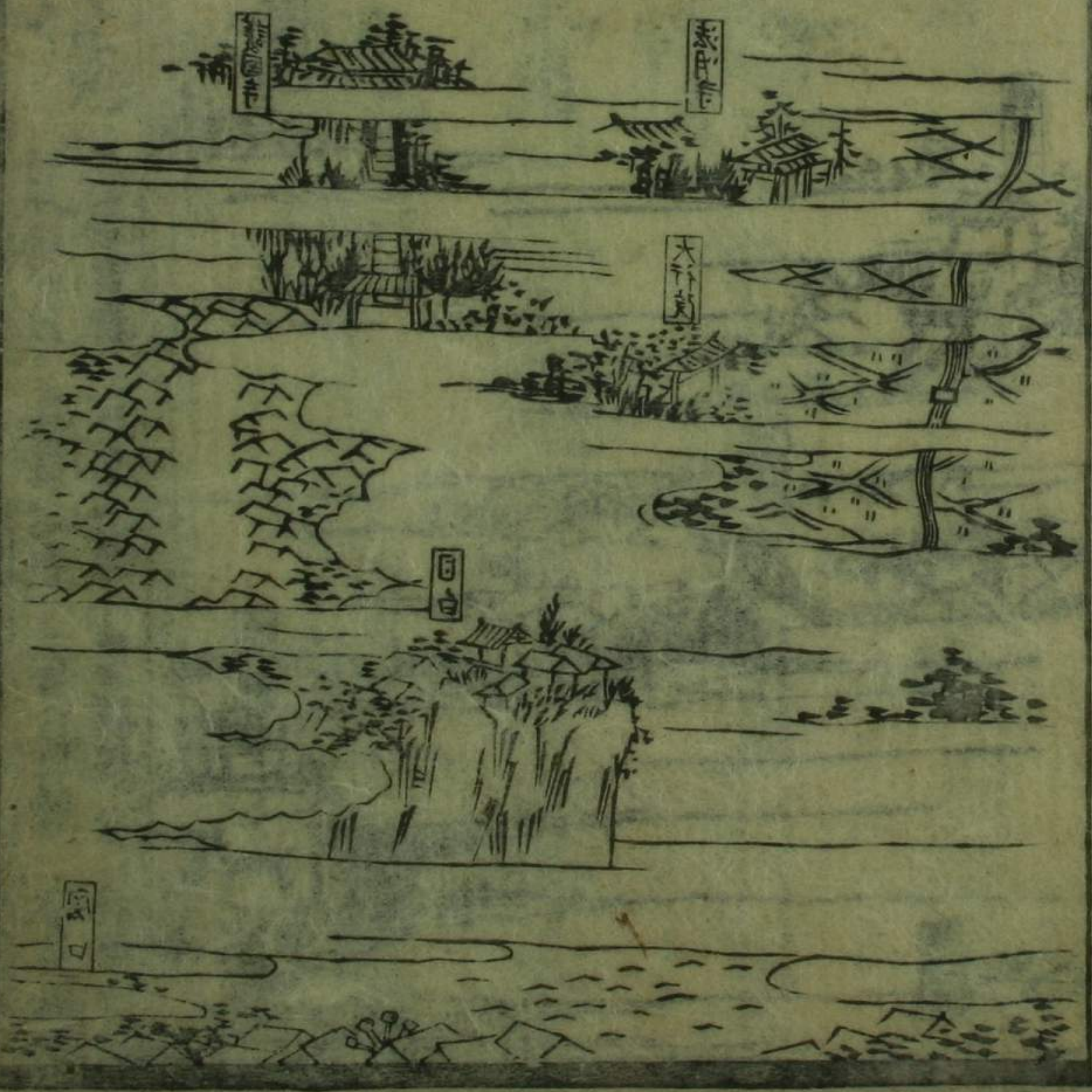
茶
匠
の
手
紙

特
ル 4
3689

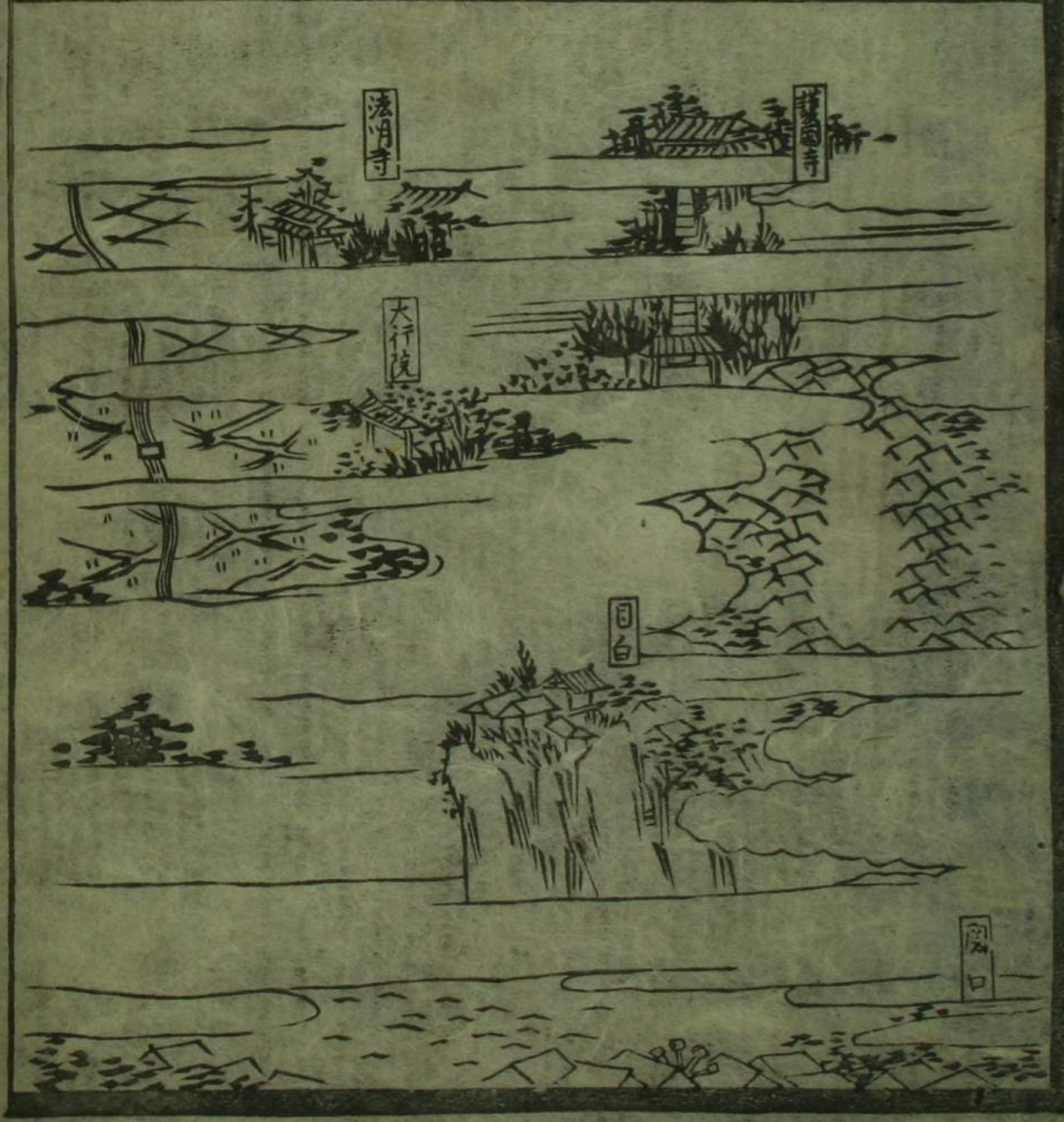


四
凡
士
3689
卷

萬
海
大
國
自
無
大
日
一
五
大
の
の
の
の
の



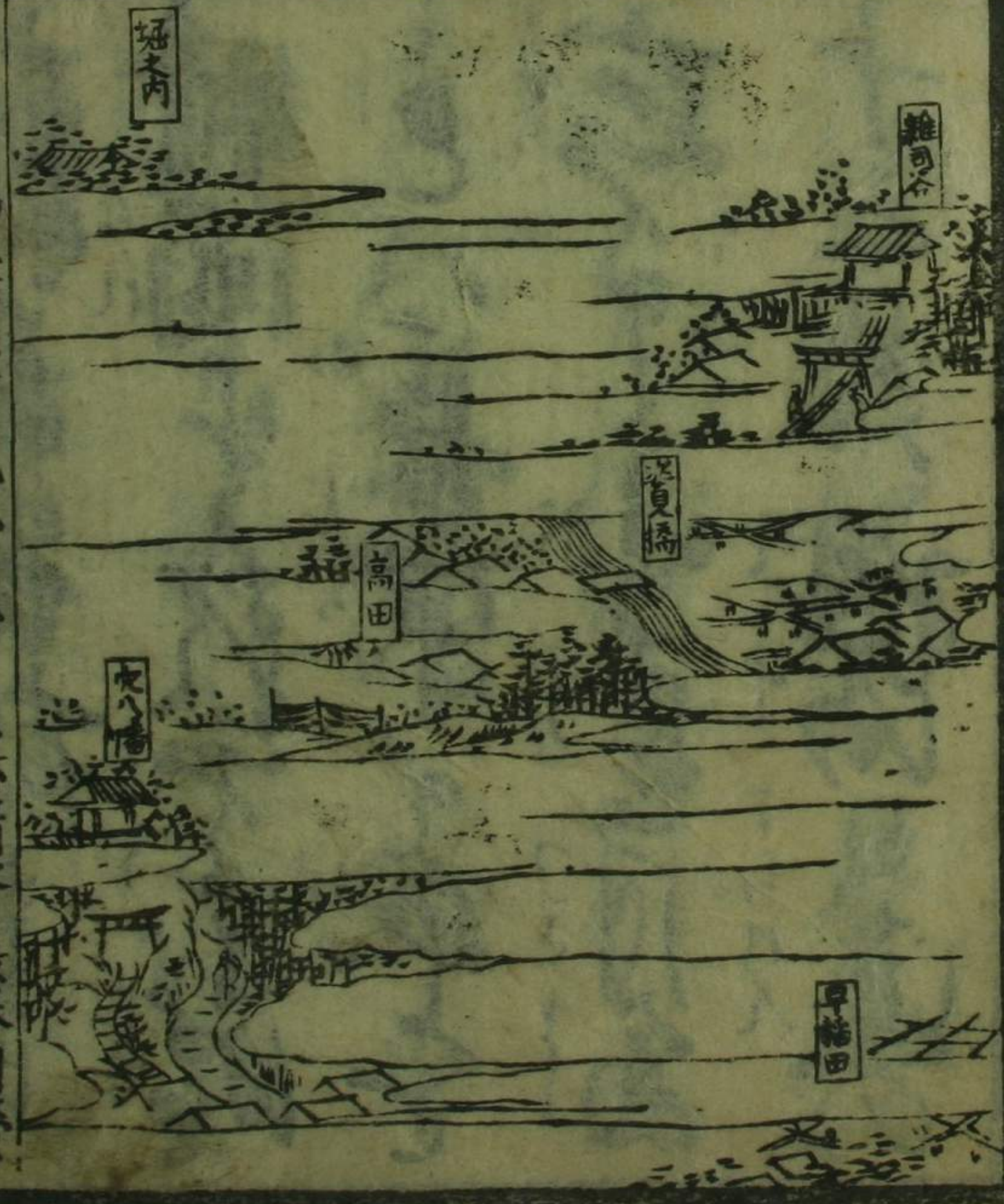
難可谷威光山法明寺
 の鬼母神八塔隊系
 陽坊の持天正奉
 日懸坊と湯治持小
 左とけ寺ふもとと
 ○日蓮上人の弟子
 六老僧
 辨阿闍梨日昭五
 白蓮阿闍梨日興五
 大國阿闍梨日朗坐
 伊豫阿闍梨日頂喜
 民部阿闍梨日向榮
 蓮華阿闍梨日持息



○同中老僧十八人
 日源 日家 日傳
 日法 天目 日位
 日常 日保 日秀
 日祐 日得 日弁
 日合 日禮 日賢
 日慈 日門 日高
 ○日朗上人の弟子
 九老僧
 日印 日輪 日善
 日傳 日範 日證
 日像 日行 朗慶

八境

御歌夜雪 威光山花 星跡清水 弦卷川螢
 鼠山木玉 池箇谷月 三爲神杖離 必見橋路鳥



難可

諸國神名考異

愚書肆の要圖て
上州妙法寺の神名考
亦の文と考て併敷
篇及及慶傳の由
来と記する原簿屠
の信者と云うは東小
水と好の僻をケる更
我々も社名を訂正
誤の貝を社と改書

正と知さるなる一
社と社名考して
そ社と知むんを
社と云ふへき人の
名と云うて誤る
よ同一今奥を
の爲小を二と流す
延和式社名考小
社名目か中本
の社名二百二十
二度か社名考

卷二

雜司台諸

高井蘭山

時雨寺

長保寺

小正月

貝祖河日蓮

會式

神を

宗風寺院

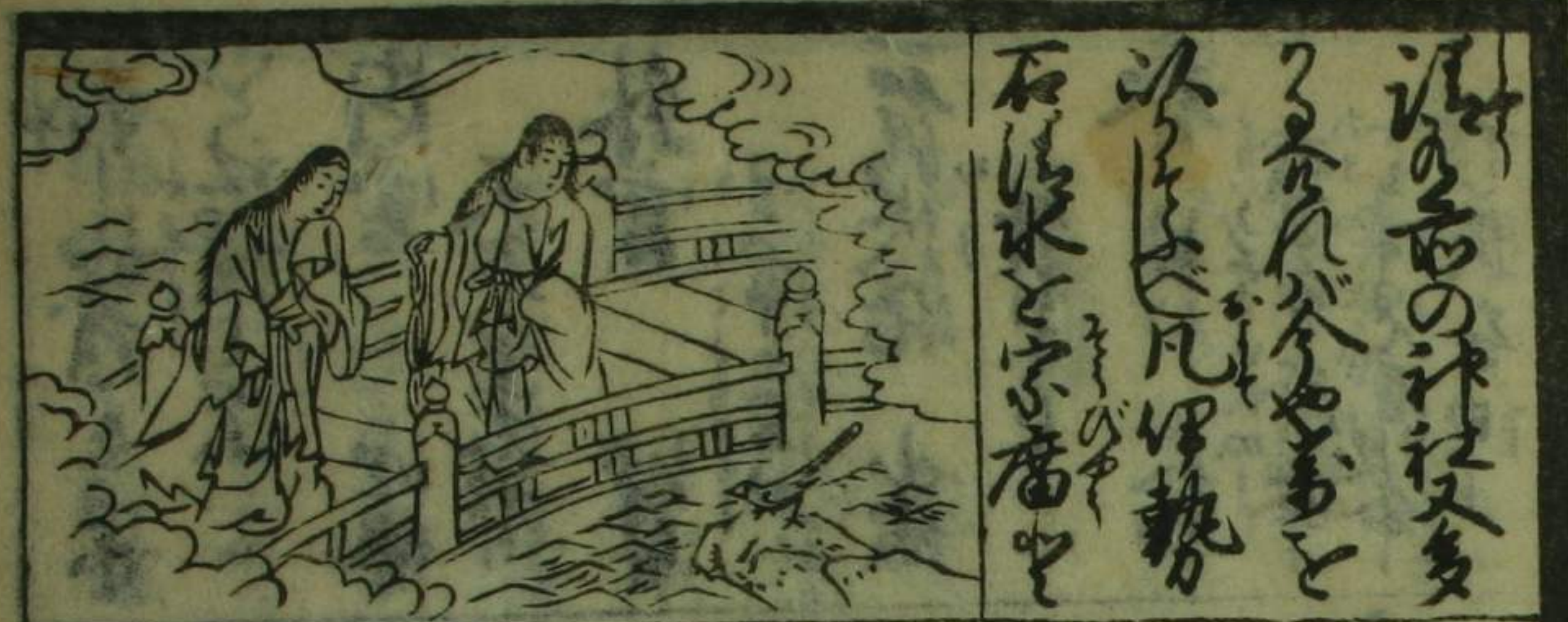
雜司台

同志

雜司

祇園神社と武家の
 神と号し毎年仲夏
 巳日と替使し
 神と系末後朱花
 二十社の教と定
 毎年申神の氏子
 たる流を替替の勅
 候して奉教と
 ありて後と心勅

今乃於此際
 巳日替取希なり
 節遠楮と祭乃
 終道と神田の
 社と古事との事



流の前の神社と
 するがれが今如きと
 以て凡て凡て執
 石は水と心席と

柳此御神の大
 貴命と祀天平
 年中に法所也
 好親と将門の
 天城河の事

新あまの若わかき日ひ小
と社やしろ禮れいと云

内官 伊勢
天皇皇天速

外官 伊勢
玉常立たまつねたて

石いし流りゅう水みづ端はた 山やま城しろ
身み作しやくてしと

春日 大和
武ぶ雷らい命のみこと 赤あか玉たま命のみこと
津つ見み人ひと倉くら根ね命のみこと
七しち照しょう右みぎ神かみ

やわお公こうの神かみ燈あかり
ふん 歳とし小こ輝かがやさ利り為ための
源げん徳とく美み民たみ小こ及およふ
文学ぶんがくを祖そ乃すなはち聖せい
堂どうをを覺さ尾びも仰あやむ

之これ禱いた 大和

大おお巳し年とし命のみこと

下した加か茂も 山やま城しろ

玉たま依よ姫ひめ

上うへ加か茂も 山やま城しろ

玉たま依よ姫ひめの玉たま子こ別わか雷らい命のみこと

松まつ尾お 山やま城しろ

加か茂も回まわ新あらた玉たま依よ姫ひめ

の丸まるゆふ矣や之これ

大おお山やま所ところの行ゆきと号なづす

稻いね荷か 山やま城しろ

さく 高たかく 橋はしなる 場ばや
か 津つ糸いとの 水みづ波なみ音ね
そ 海うみ平ひらて 雲くもと 渡わたさ
か 神かみ田た川がは乃すなはち 流ながる 水みづ
こ 溪たに水みづの 如ごとく 此こ所ところの

佳司

四

和洞年中山神初て
 何事利山に現せ
 空海程と首元
 人と多と云況
 魚ハハハハハハ
 平野 山城
 源平の諸大い
 の八姓の世神
 一之に徳常廟
 大系書 山城
 表日同新

眺を邀く乾
 見由るは世のう
 日本武名を東夷
 と征く武名と名
 武の秩父の

古田 山城
 表日同新
 石上 大和
 十握の海と流じ
 布衣の神林集も
 廣津 大和
 大忌林
 龍田 大和
 級最戸名命
 凡神に女神も
 流田娘と云

山崎 山崎は富士の
 志 志は心
 元へくくく
 江戸川小海まで
 掃部格上あり

河吉 橋津

上野寺神宮依磐

唐河男表河男

中河男神功宮名

日吉山王 進江

松尾比叡同和

梅宮 山城

橋氏の祖神也

廣田 橋津

天照太神

祇園 山城

素戔嗚尊

福田姫

八岐蛇

水野 山城

贈志政大臣後系

朝倉道玄の廟

丹生 太和

神武帝神地祇

とたのひて地なる

丹生神と建く

丹生明神と云

原井の既池より

平なる水庭道中

の成巧く東豊山

新長谷寺目白

小動、荒津、回佛

弘法の作と形類

大洗堰乃活瀬

なるり世塵の

禪涌を濼ふるく

関口の多車上を

准司

一

貴布祢 山城

流神

以上三社とて

熊野 紀伊

伊弉册子

多賀 淡路

伊弉册子

白山 加賀

伊弉册子

一言兼理媛

大社 出雲

兼志

佛説の輪廻を

観て一見下界

曠々きり沃野

の家為耕耘乃

田吏うたの暴風よ

素盞鳥

日杵神 紀伊

思兼作石瀬

妣として造りぬ

あま日杵の巻

太玉 大和

忌部氏の御神代

この白き素盞の御

高市 木和

大己尊の御事

代りし神

梳子苗元乙女が

舉月の雨よほ

正る小粒これ奉

若を想像音羽

糸浪吹山動

佳司

大和

思兼神の子

信濃内之九段系

西宮 山城

龍兒

本幡 山城

天照太神の御子

天忍根命

麻湧 常陸

速日神

武甕槌の孫

香取 下総

経津主神

之湯 信濃

大山津

伊田 信濃

天照太神の孫

稚日女尊

長田 信濃

事代主神

源清 信濃

健甕名命

新書

瓶波山護持院

神楽山護持寺の

本尊はるる以て

馬腦丸如意輪観

世音なり境内の

西園社所の観

音と如り此路と

珍々常類目の

送場又半の

馬田通りを先

佳月



大正天皇の御宇

五條天神山塚

この山は昔は
少長名命

南宮 英漢

新編

於海の祀久
 山に收寺と号す
 龜鶴山の六智
 穿らるる食糧
 果の羊剝小海

令山英志許

宗像 荒茶

素老鳥の字
田心規

宇佐 世系

素老鳴の字

清源氏後膳と

嚴為 安藝

市村為命

比賣神宮 拾遺

下照派別名

寺号より西方
 与れ親者は中
 天皇より唐名
 三流寺傳しと
 弘法入るの御授

准司

九

の形子と天龍夫

の妻

音海 像

孝具帝の形子

古徳海命

阿婆 肥後

河養夫河養

於旅

熱田 尾法

素盞鳴系

新劍より

白鳥明神漫波

目武

澤次明神道に

八岐大蛇

乳比 越前

仲哀帝の白鳥

去來妙神

香推 瓶系

仲哀帝の廟

宇派 瓶系

夜津若造の

新

之玉傳果の像

宮八幡と光松山

放生寺と光松

放生池南社八石

活水と活石

百孝宮実泉も乃

昆沙門中水稲

清圓の社を丁

芝石活泉と活石

新富士の石

雀司

十

地とあり

第^し一^い 第^し二^い 第^し三^い

皇^す神^{しん}帝^{てい}の^の廟^{ぼう}

松^{しょう}浦^{うら} 紀^き伊^い

神^{しん}功^{こう}皇^す后^{こう}後^ごと

あそび

御^ご香^{かう}文^{ぶん} 出^{しゅ}城^{じやう}

神^{しん}功^{こう}皇^す后^{こう}の^の廟^{ぼう}

三^{さん}良^{りやう} 紀^き伊^い

武^ぶ内^{ない}名^な稱^{せう}

玉^{たま}河^か津^つ 紀^き伊^い

子^ら孫^{そん}年^{ねん}の^の聖^{せい}新^{しん}湯^{たう}が

池^いの^の於^お 境^き内^{ない}に

子^こ稻^せ田^{でん}の^の畦^ゐ路^ろを

上^つ乃^の出^{しゅ}と^と八^{はち}幡^{ばん}

上^う乃^の宮^{みや}桂^{けい}伊^い海^{かい}

夜^よ通^{とう}姫^{ひめ}

越^こ通^{とう} 和^わ泉^{せん}

中^{ちゆう}将^{しやう}来^{らい}の^の具^ぐこ

七^{しち}面^{めん}の^の環^{わん}小^{せう}糸^{いと}と

宇^う治^ぢ姫^{ひめ} 出^{しゅ}城^{じやう}

姫^{ひめ}大^{だい}津^つ

皇^す神^{しん}帝^{てい} 須^す賀^か

皇^す神^{しん}帝^{てい}

大^{だい}和^わ

一^{いっ}事^じと^と神^{しん}

今^{いま}峰^{ほう}山^{さん} 大^{だい}和^わ

水^{すい}神^{しん}の^の社^{しゃ}也^や色^{しき}也^や鳥^と

塚^{づか}也^や地^ぢ水^{すい}産^{さん}く^く

白^{はく}津^つ宮^{みや}宿^{しゆく} 後^{こう}山^{さん}

津^つ波^な茂^{もう}り^りて^て 舞^ま舞^ま

帝^{てい}風^{ふう}流^{りゅう}示^し禰^ねの^の禰^ね

金^{きん}の

安永幸の具

多岐 大和

淡山 杉原 冠

深定の廟

愛宕山 小塚

石屋 佐子 の家

百舟 目黒 堤

比良 明神 辺に

石山 明神

之山 明神 辺に

長元 年中 山

新三

十

地也 さら 田の馬場

七面 の社 安国 人

格より 雜司 益

福を 威先 心

法明 寺ハ 慈覚

大師 の 平巻 して

名宗 多あり 一が

日源 上人 の 所より

法華 道場 成

日蓮 上人 の 所 海ハ

神沢

富士 後河

本花 軍 耶 派

若根 お後

長元 出 刃 する

足柄 お後

在来 系 群 妻 計 等

日光 山 下 町

在来 系 命 命

大山 御 祭

大智 大明 神

准司

世

科禮帝の祠
 院小依て劫後
 加々美 寺
 幸皇を奉祀
 之深 後河
 沐浴女
 山崎 山嶽
 沼解の社
 尾法
 高玉の提社
 葦川 大物

平地帝の廟
 國韓社 帝於
 之内者三度の社
 帝於神
 杜本當宗 河内
 二社や多帝
 外祖
 山神 山嶽
 之道氏の社
 今之 山嶽
 山系社の社

道念式於に推傳
 部れ作とくや鬼子
 母神と蟻頭大
 院 東陽坊乃持
 山て宗祖の階

弟去先僧影
 空乞傳六志水院
 日朗中子九先
 海と回東下納
 十八先八蓮成吉小

准司

若杜 山

天武帝の御妻

親王の御之儀

廢帝の御之儀

崇乃之御妻

謹民

月夜見神

無志神

日守神

赤明神

左山有若の神

三浦

大山神

波夜夜名

長門

戸原

八咫鳥社

武津之身命

不破冥神

武の御現

河のり寺坊威

贈物願美

或人上世

靴車不測救助

の作と様像

見女眼と悦

母と花王

後現御出嶽の

夏冬結色川の

管賞就小坊

准司

新

三

龍藏山 浮塔

日弓

岩本 出城

在平業平

檜本 出城

安方朝臣

阿波河内守

浦清子

相模守

蟻丸の具

檜文 出城

三照寺

白鷺 出に

色江地

平園 出に

天根命

河上 紀元

神功皇后

新羅神

新羅王

比古神 若狭

祀末詳今佛古

松竹あり芝居て

雁尾小崗をり

海坂落合より

舟走之山越(口)

谷衝道く

堀丸ら日圓山

妙法寺下東は

下経さ日の涯

若名西よ細以らん

凡此名も亦禱さ

維同

十五

とりの神歌ると云

尚麻 大和

け社に福林と

しと佛場と云

三枝 大和

率川と同一仲と

率川と同一仲と

あると云

中山 山

石社と云

大荒明社掃塵

秦河勝の女

區山嶽神社日向

大蛇

新田 武彦

九唐依義典

神田 武彦

大正平本後門の

吾妻歌 武彦

日本武彦掃塵

小池照 武彦

小池首の女

兼

五

まに武彦好小

河りとくする迎

水そそ養蚕奉る

美草れ云凡

遷成いふ也り也

海海し桃雲中

野実他も乃塔

淀栲成子と架

内友岩とるを

瑞く攻也

雑司

六



汲中社畧之冊紙
 常の流波の赤塚の
 神江考の因書見
 高井蘭山藏

海
 人
 流
 坊
その
ふひ

東武米花坊
 山音早水書



江戸... 江... 浦... 寺子... 上... 松... 富... 和漢朗詠國字形... 古状揃平加... 同巻... 用文章

江都上野麓
 下谷町
 花屋久

加共推并知編按 四續後由又續

新刻久編

昔蒙恩沐國恩此元續後日由又續

江蘇十餘年

德十子德一最通通通德五子福

百餘

昔物為其江想通通通本為其通通

文從編又續

十吹老後通德物通四四德德通通

通通通通通

以通通子德德德通通通通通通通

通通通通通

德以通通通德德 田通通通通通

通通通通通

通通通通通通通通通通通通通

通通通通通

德通通通通通通通通通通通通

通通通通通

德通通通通通通通通通通通通

通通通通通

德通通通通通通通通通通通通

通通通通通

